

<受験生物で「覚えておくといいよ」っていう人名・業績>

「細胞」範囲

年度	人名	国名	業績
1665年	フック	イギリス	細胞の発見
1674年	レーウエンフック	オランダ	生きている細胞を顕微鏡で観察
1831年	ブラウン	イギリス	細胞の核の発見
1838年	シュライデン	ドイツ	植物についての細胞説の提唱
1839年	シュワン	ドイツ	動物についての細胞説の提唱
1858年	フィルヒョー	ドイツ	細胞は細胞分裂によって生じる(細胞説をまとめた)
1869年	ミーシャー	スイス	核酸(ヌクレイン)の発見
1970年	マーグリス	アメリカ	(細胞)共生説の提唱
1972年	シンガー ニコルソン	イギリス	細胞膜における流動モザイクモデルの提唱

「生殖と発生」範囲

年度	人名	国名	業績
1888年	ルー	ドイツ	前成説を支持する実験
1891年	ドリーシュ	ドイツ	後成説を支持する実験
1895年	モーガン	アメリカ	カエル卵が調節卵であることの確認
1924年	シュペーマン (マンゴルド)	ドイツ	形成体(オーガナイザー)の発見
1926年	フォークト	ドイツ	原基分布図の作成

「遺伝」範囲

年度	人名	国名	業績
1865年	メンデル	オーストリア	遺伝の法則の発見
1900年	ド・フリース コレンス チェルマク	オランダ ドイツ オーストリア	メンデルの遺伝の法則の再発見
1926年	モーガン	アメリカ	遺伝子説(遺伝子間の距離と組換え価が比例する)の確立

「環境と動物の反応」範囲

年度	人名	国名	業績
1628年	ハーベイ	イギリス	血液の循環を証明
1796年	ジェンナー	イギリス	ワクチンの開発(天然痘)
1855年	ベルナール	フランス	ホメオスタシス(恒常性)の基礎を築く
1882年	コッホ	ドイツ	結核菌の発見
1885年	パスツール	フランス	狂犬病ワクチンの完成
1889年	北里柴三郎	日本	破傷風菌の発見
1901年	ラントシュタイナー	オーストリア	ABO式血液型の発見
1901年	高峰譲吉	日本	アドレナリンの抽出
1903年	パブロフ	ロシア	条件反射の研究
1905年	ベイリス スターリング	イギリス	ホルモン(セクレチン)の発見
1921年	レーウィ	ドイツ	神経伝達物質の解明

1922年	フレミング	イギリス	リゾチームの発見
1927年	フリッシュ	オーストリア(ドイツ)	ミツバチのダンスの発見
1929年	フレミング	イギリス	ペニシリン(抗生物質)の発見
1932年	キャノン	アメリカ	ホメオスタシス(恒常性)の命名
1935年	ローレンツ	オーストリア	刷込みの発見
1944年	ワックスマン	アメリカ	ストレプトマイシン(抗生物質)の発見
1951年	ティンバーゲン	イギリス	トゲウオによる本能行動の研究
1954年	ハックスリー	イギリス	滑り説の提唱
1977年	利根川進	日本	DNAスプライシング(遺伝子の再編成)の解明

「環境と植物の反応」範囲

年度	人名	国名	業績
1880年	ダーウィン(息子)	イギリス	植物の屈性の実験
1905年	ブラックマン	イギリス	光合成の環境要因の推論
1910年	ポイセン・イエンセン	デンマーク	植物の屈性の実験
1918年	パール	オランダ	植物の屈性の実験
1926年	黒沢英一	日本	ジベレリンの発見
1928年	ウェント	オランダ	植物の屈性の実験(オーキシンの発見)

「代謝」範囲

年度	人名	国名	業績
1897年	ブフナー	ドイツ	チマーゼの抽出
1937年	クレブス	イギリス	クエン酸回路の研究
1939年	ヒル	イギリス	ヒル反応の解明
1941年	ルーベン	イギリス	ヒル反応の解明
1957年	カルビン ベンソン	アメリカ	カルビン・ベンソン回路の解明

「遺伝情報とそのはたらき」範囲

年度	人名	国名	業績
1903年	サットン	アメリカ	染色体説(遺伝子の本体は染色体上にある)の提唱
1927年	マラー	アメリカ	人為的突然変異の確立
1928年	グリフィス	アメリカ	形質転換の前駆的研究
1944年	アベリー	アメリカ	DNAが遺伝子の本体であることの証明(形質転換実験)
1945年	ビードル テイタム	アメリカ	一遺伝子一酵素説の提唱
1949年	シャルガフ	オーストリア(アメリカ)	塩基対合則の確立
1952年	ハーシー チェイス	アメリカ	DNAが遺伝子の本体であることの証明 (T <sub>2</sub> ファージの増殖実験)

1952年	ウィルキンス フランクリン	イギリス	DNAのX線構造解析
1953年	ワトソン クリック	アメリカ イギリス	DNAが二重らせん構造であることの提唱
1954年	ガモフ	アメリカ	トリプレット説の提唱
1958年	メセルソン スタール	アメリカ	DNAの半保存的複製の証明
1958年	スチュワード	アメリカ	カルスの作成
1959年	オチョア	アメリカ	核酸の生合成, 翻訳の解明
1961年	ジャコブ モノー	フランス	オペロン説の提唱
1961年	ニーレンバーグ	アメリカ	遺伝暗号(コドン)の解読
1963年	コラーナ	アメリカ, インド	遺伝暗号(コドン)の解読
1966年	ガードン	イギリス	核移植によるクローン動物(アフリカツメガエル)の作成
1983年	マリス	アメリカ	PCR法の開発
1997年	ウィルマット キャンベル	イギリス	核移植によるクローン動物(ヒツジ)の作成
1998年	トマソン	アメリカ	ES細胞の発見
2007年	山中伸弥	日本	iPS細胞の発見

「生物の集団と生態系」範囲

年度	人名	国名	業績
1907年	ラウンケル	デンマーク	植物の生活形の分類

「進化・系統分類」範囲

年度	人名	国名	業績
1668年	レディ	イタリア	自然発生説の否定
1735年	リンネ	スウェーデン	二名法を確立 二界説の提唱
1765年	スパランツァーニ	イタリア	自然発生説の否定
1809年	ラマルク	フランス	用不用説の提唱
1859年	ダーウィン(父) (ウオレス)	イギリス	自然選択説の提唱
1861年	パスツール	フランス	自然発生説の否定
1866年	ヘッケル	ドイツ	発生反復説の提唱
1868年	ワグナー	ドイツ	隔離説(地理的隔離)の提唱
1878年	ヘッケル	ドイツ	三界説の提唱
1885年	ロマニーズ	イギリス	隔離説(生殖的隔離)の提唱
1901年	ド・フリース	オランダ	突然変異説の提唱
1908年	ハーディ ワインベルグ	イギリス ドイツ	ハーディ・ワインベルグの法則の提唱
1936年	オパーリン	ロシア	コアセルベートの作成(コアセルベート説)

1953年	ミラー	アメリカ	原始大気におけるアミノ酸生成の実験的研究
1959年	原田馨 フォックス	日本 アメリカ	ミクロスフェアの作成
1968年	木村資生	日本	中立説の提唱
1969年	ホイッタカー	アメリカ	五界説の提唱
1982年	マーグリス	アメリカ	五界説の修正 & 発展
1990年	ウーズ	アメリカ	三ドメイン説の提唱
1997年	江上不二夫 柳川弘志	日本	マリグラヌールの作成